

令和5年度 学力向上に係る効果的な取組事例

『豊かな学びを推進する 幸手市GIGAスクール構想』と『個別最適な学び』を目指した取組事例

幸手市教育委員会

豊かな学びを推進する 幸手市GIGAスクール構想

子供たちが未来社会を切り拓くために、生きて働く「知識及び技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養が求められています。

このような資質・能力は、毎日の授業の中で意図した実践を繰り返しながら、義務教育の中で育成していくことが必要です。また、GIGA スクール構想で整備された一人一台端末を効果的に活用することで、より一層、資質・能力が育成されていくと考えています。

そこで幸手市では、以下の資料等を作成し、教職員・保護者・児童生徒等に広く周知するとともに、確実に活用するよう働きかけております。

令和5年度 豊かな学びを推進する幸手市GIGAスクール構想 グランドデザイン

目的は、**豊か**な学び、**個別**最適な学び、**協働**的な学びを推進し、**主体的・対話的で深い学び**を実現することです。

豊かな学びで未来を拓く

原簿生徒に育成する力

教職員の取組

本館に377校の協力校あり



[グランドデザイン](#)

幸手市 GIGA スクール ガイドライン

令和4年5月 幸手市教育委員会

[ガイドライン](#)



幸手市教育委員会

現在の課題

幸手市立幸手小学校の取組

各校の取組



[各校の取組](#)

幸手スタンダード授業5 with GIGA

主体的・対話的で深い学びを実現する授業

心身のスイッチ

問題・課題を知る

一人で見え、共に深める

まとめ

振り返り

定着・発展

幸手スタンダード授業5 with GIGA



[幸手スタンダード授業5 with GIGA](#)

今後も、日々の授業等で、一人一台の学習者用端末の環境を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、主体的・対話的で深い学びを推進し、「豊かな学びで未来を拓く」教育を目指しています。

「個別最適な学び」を目指した取組事例

事例1

- 教科名 国語
- 単元名 小学校第5学年「グラフや表を用いて書こう」
- 身に付けたい力

- ・文章中に用いられている図表やグラフなどが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにすることによって、必要な情報を見つけたり、論の進め方を捉えたりする力
- ・自分の学びを振り返りながら、読み手が納得できるような意見文を粘り強く書こうとする力

○一人一台端末を生かした個別最適な学びへの工夫

- ・身に付けたい力を育成するために、デジタル教科書の機能（デジタル上の紙面から文や挿絵を抜き出して貼り付け、自分の考えをまとめられる機能）を活用した。
- ・児童がデジタルポートフォリオを継続的に残していくことで、児童自身が学びを振り返り、次の学びに向かえるようにした。



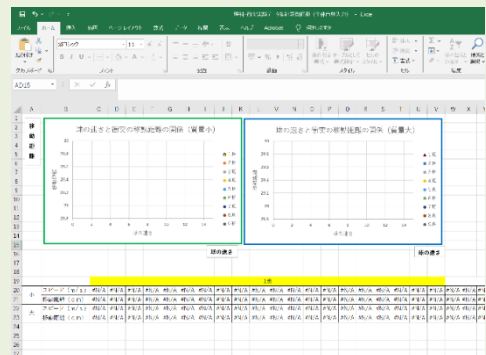
事例2

- 教科名 理科
- 単元名 中学校第3学年「仕事とエネルギー」
- 身に付けたい力

- ・運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する力
- ・探究の過程を振り返る力

○一人一台端末を生かした個別最適な学びへの工夫

- ・球の速度と衝突による移動距離を入力する Excel ファイルをクラウドで共有することで、実験結果の共同編集を可能にした。
- ・実験結果を即時共有することで、各生徒の思考が可視化され、教師の適切な支援に繋げることができた。
- ・生徒は、他のデータを参照することが容易となり、試行錯誤を繰り返しながら、規則性を見いだしたり、外れ値の補正を行ったりすることができた。



[幸手中学校における実践で使用したデータです。御自由に DL して御活用ください。](#)